

『大間町史（平成9年刊）』正誤表

(令和4年10月現在)

頁	行	誤	正
目次 最終頁	8行目	林木地区	材木地区
3	後ろから2行目	大間崎灯台	大間 <u>埼</u> 灯台
14	4行目	平館	平 <u>館</u>
17	7行目	大間崎灯台	大間 <u>埼</u> 灯台
37	後ろから6行目	大間崎	大間 <u>埼</u>
203	8行目	一万五〇〇〇人	一万 <u>七三〇〇</u> 人
258	8行目	大正五・四・一〇	(<u>退任日不明</u>)
286	10行目	広谷久	<u>廣</u> 谷久
287	2行目 10行目 11行目	広谷久 佐々木国光 広谷久	<u>廣</u> 谷久 佐々木 <u>國</u> 光 <u>廣</u> 谷久
288	3行目 4行目 7行目 8行目	広谷久 佐々木国光 広谷久 佐々木国光	<u>廣</u> 谷久 佐々木 <u>國</u> 光 <u>廣</u> 谷久 佐々木 <u>國</u> 光
289	表中 下から7行目 下から4行目 下から1行目	総務企画常任委員会 ○佐々木国光 岩泉茂利 佐々木国光 佐々木国光	○佐々木 <u>國</u> 光 岩泉 <u>盛</u> 利 佐々木 <u>國</u> 光 佐々木 <u>國</u> 光
290	2行目 8行目 12行目	広谷久 広谷久 佐々木国光	<u>廣</u> 谷久 <u>廣</u> 谷久 佐々木 <u>國</u> 光
352	11行目	木村重孝	木村重 <u>功</u>
358	後から2行目	渡部知己	渡部 <u>成</u> 巳
360	7行目	豊国丸の軍医で、艦の地没後、木片につかまって大畑に漂流して救助された一二人の一人で、後に北大教授になったと伝えられる。	<u>豊国丸遺族会会長の高津市三である</u> と伝えられる。
571	後から5行目 後から2行目	二 大間崎灯台 大間崎霧信号所も大間崎灯台の点灯と	二 大間 <u>埼</u> 灯台 大間 <u>埼</u> 霧信号所も大間 <u>埼</u> 灯台の点灯と

頁	行	誤	正
572	写真6-23 10行目 12行目	大間崎灯台 大間崎航路 大間崎航路	大間 <u>埼</u> 灯台 大間 <u>埼</u> 航路 大間 <u>埼</u> 航路
573	表タイトル中 後から3行目 後から2行目	歴代大間崎灯台所長 大間崎灯台 尻屋崎灯台	歴代大間 <u>埼</u> 灯台所長 大間 <u>埼</u> 灯台 尻屋 <u>埼</u> 灯台
575	3行目	一八六六	一八六 <u>八</u>
580	後から3行目	大町5 2 - 1	大間5 <u>2</u>
786	後から6行目	元和（一六八五～九三）	元和（一六 <u>一五</u> ～ <u>二四</u> ）
796	12行目	岩手県郷土資料館	盛岡中央公民館
801	後から2行目	大間灯台	大間 <u>埼</u> 灯台
803	10行目	寺小屋	寺子屋
804	3行目ルビ 4行目 6行目 後から3行目	だいかんやま 寺道 九世 法地 竜神堂 万延2年 八代竜神	だいかん <u>ざん</u> 大間 十九世 大活亮禪 龍神堂 文久元年 八代龍神
805	4行目	法香寺	<small>だいかいさん</small> 大海山法香寺
811	3行目 5行目	松濤山 松濤山	松 <u>寿</u> 山 松 <u>寿</u> 山
835	10行目 14行目	新年祭 竜神様	<u>祈</u> 年祭 龍神様
884	3行目 4行目 5行目	木村家は藩主容大とともに斗南ヶ丘 少年のころ 田名部校	木村家は小川町一番地、藩主容大は <u>円通寺</u> <u>小学生の時</u> 田名部 <u>小</u> 学校

参考文献

■全体を通して

- 『大間町史』大間町史編纂委員会 大間町 1997年
『広報おおま』1989年1月号～2022年3月号
『第4次大間町総合計画』大間町 1999年
『第5次大間町総合計画』大間町 2008年
『第6次大間町総合計画』大間町 2021年
『大間町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』大間町 2016年
『大間町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン改訂版』大間町 2020年
『大間町まち・ひと・しごと創生 総合戦略』大間町 2016年
『第2期大間町まち・ひと・しごと創生 総合戦略』大間町 2020年
河北新報、東奥日報、朝日新聞、毎日新聞

■第1章

- 『下北半島ニホンザル モニタリング調査報告書』特定非営利活動法人北限の野生動物管理センター 2021年
『青森おさかな自慢』青森おさかな自慢情報発信協議会 青森県農林水産部水産局水産振興課 2013年
『自力更生の原理』「自力更生の原理」復刻出版委員会 大間町文化協会 1996年

■第2章

- 『大間原子力発電所 建設工事のあらまし』電源開発
『専修法学論集 第136号』専修大学法学会
『広報おおま』1964年5月号・12月号 大間町

■第3章

- 『組合の概要』下北地域広域行政事務組合 2020年

■第4章

- 「農林業センサス」2015
『下北の国有林』下北森林管理署 2020年
『大間町産業振興促進計画』大間町 2019年
『青森県観光統計概要』青森県商工観光労働部文化観光推進課
「大間観光情報サイト おおまワイドアップ」大間町観光協会

■第5章

- webサイト「日本の灯台」
『総合行政ネットワークシステムの概要』地方公共団体情報システム機構・総合行政ネットワーク全国センター

2019年

『豊国丸遺族会と揺れ動く墓標』豊国丸遺族会

■第6章

『第3次大間町国土利用計画』大間町 2012年

『組合の概要』下北地域広域行政事務組合 2020年

『下北ジオパーク保安全管理計画』下北ジオパーク推進協議会 2020年

■第7章

『令和元年度大間町の教育』大間町教育委員会 2019年

『令和2年度大間町の教育』大間町教育委員会 2020年

「大間町学力向上研究会の取組」大間町学力向上研究会

「学習習慣に関するアンケート」大間町学力向上研究会

『青森地区柔道会創立八十五周年記念青森柔道誌』青森地区柔道会

『五十周年記念青森県柔道史』

『70周年会報』青森県中学校体育連盟 2020年

『令和2年度 みさき～大間町児童生徒の健康に関する実態～』大間町学校保健会 2021年

『平成29年度 大間町教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書』大間町教育委員会 2018年

『大間町立学校における働き方改革プラン』大間町教育委員会 2021年

■第8章

『大間町子ども・子育て支援事業計画』大間町 2015年

『第2期大間町子ども・子育て支援事業計画』大間町 2020年

『大間町第1期障害福祉計画』大間町 2007年

『大間町第2期障害福祉計画』大間町 2009年

『大間町第3期障害福祉計画』大間町 2012年

『大間町地域福祉計画』大間町 2014年

『第2期大間町地域福祉計画』大間町 2019年

『介護保険事業計画・老人保健福祉計画』大間町 2000年

『第2期介護保険事業計画・老人保健福祉計画』大間町 2003年

『第3期介護保険事業計画・老人保健福祉計画』大間町 2006年

『第4期介護保険事業計画・老人保健福祉計画』大間町 2009年

『第5期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画』大間町 2012年

『第6期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画』大間町 2015年

『第7期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画』大間町 2018年

『第8期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画』大間町 2021年

『大間町高齢者実態調査結果報告書』大間町 2017年・2020年

■第9章

- 『青森県浄土宗のお寺』浄土宗青森教区 2021年
『いろり』第36号 下北地方文化財審議委員連絡協議会 2020年
『お稻荷さま』第1～21号 大間稻荷神社 2006～2014年

■第10章

- 『おおま議会だより』第88・93号
『武内家所蔵資料目録』大間町文化財調査報告書第5集 大間町教育委員会 1998年
『青森県史 資料編 近世4 南部1 盛岡藩領』青森県 2003年

■第12章 (年表)

- 『続青森県近代史略年表』秋田義信 青森文芸出版 2022年
『平成史全記録』毎日新聞出版平成史編集室 毎日新聞出版 2019年

*文献中、書籍・雑誌は『 』とし、それ以外は「 」としています。

大間町史編さん委員会委員 (敬称略)

〈取組当初〉

委員長	金澤 満春	町長	
副委員長	菊池 武利	副町長	
副委員長	佐藤 桂一	教育長	
委員	石澤 一昭	僧侶	大間
委員	菊池 泰進	僧侶	大間
委員	古畑 龍泉	僧侶	奥戸
委員	日時 浩美	宮司	大間
委員	米澤 明男	元教育長	大間
委員	松原 俊逸	文化財審議委員	大間
委員	興村 慎吾	文化財審議委員	奥戸
委員	岩泉 盛利	春日神社氏子総代長	奥戸
委員	竹内 勝雄	大間地区総代	大間
委員	柳谷 章造	奥戸地区総代	奥戸
委員	佐々木 明	材木地区総代	材木
委員	傳法 正広	総務課長	
委員	寺岡 耕一	企画経営課長	
委員	小林まゆみ	会計管理者	
委員	細川 大広	税務保険課長	
委員	中新由記子	住民福祉課長	
委員	田中 一義	産業振興課長	
委員	山田 司	北通り種苗育成センター所長	
委員	寺岡 英則	生活整備課長	
委員	山崎 一利	議会事務局長	
委員	御厩敷義子	大間幼稚園長	
事務局	熊谷 直喜	教育課長	
	浅見 法	教育課長補佐	

〈刊行時〉

委員長	野崎 尚文	町長	
副委員長	山本 隆	教育長	
委員	石澤 一昭	僧侶	大間
委員	菊池 泰進	僧侶	大間
委員	古畑 龍泉	僧侶	奥戸
委員	日時 浩美	宮司	大間
委員	米澤 明男	元教育長	大間
委員	松原 俊逸	文化財審議委員	大間
委員	興村 慎吾	文化財審議委員	奥戸
委員	岩泉 盛利	春日神社氏子総代長	奥戸
委員	竹内 勝雄	大間地区総代	大間
委員	柳谷 章造	奥戸地区総代	奥戸
委員	佐々木 明	材木地区総代	材木
委員	細川 大広	総務課長	
委員	熊谷 直喜	企画経営課長	
委員	田中 一義	会計管理者	
委員	傳法 裕一	税務課長	
委員	中新由記子	住民福祉課長	
委員	金澤 秀人	健康づくり推進課長	
委員	高松 慎悦	産業振興課長	
委員	蝦名 正樹	北通り種苗育成センター所長	
委員	増山 涉	生活整備課長	
委員	菊池 良一	議会事務局長	
委員	村川 研二	大間幼稚園長	
事務局	菊池 雄三	教育課長	
	浅見 法	教育課長補佐	

町史協力者名簿 (敬称略・順不同)

章	依頼項目	氏名又は団体名
第1章	地質、火山岩、海底地形図	J-POWER電源開発株式会社
第2章	大間町原子力発電所計画	大間現地本部大間原子力建設所
第1章	ウミネコ・弁天島の野鳥—原稿執筆	平田和彦 (千葉県立中央博物館生態・環境研究部環境教育研究科)
第2章	木村重孝	木村重忠 (会津斗南藩資料館・向陽処館長)
第3章	消防	大間消防署
	警察	大間警察署
第4章	大間町畜産農業協同組合	大間町畜産農業協同組合
	林業	下北森林管理署大間森林事務所
	漁業協同組合	大間漁業協同組合
	漁業協同組合	奥戸漁業協同組合
	大間町商工会・大間町観光協会	大間町商工会
	工業	ヒバ開発(株)
	観光大使 三遊亭大楽	三遊亭大楽
	観光大使 田畑智子	(株)フロム・ファーストプロダクション
	観光大使 福田こうへい	(株)ノア
第5章	大間町の郵便	大間郵便局
	大間町の郵便	奥戸郵便局
第6章	北通り総合文化センター「ウイング」	(公財) 下北北通り地域振興財団
	下北ジオパーク	むつ下北ジオパーク推進協議会
第7章	大間高等学校	青森県立大間高等学校
第8章	大間保育園	大間保育園
	うみの子保育園	うみの子保育園
	大間病院	国民健康保険大間病院
	地域包括センター・くろまつ	特別養護老人ホーム「くろまつ」
	グループホーム 内山苑	グループホーム 内山苑
	特別養護老人ホーム しおさい岬	特別養護老人ホーム しおさい岬
	グループホーム おおま荘	グループホーム おおま荘
	大間町社会福祉協議会	大間町社会福祉協議会
第9章	天妃様	もりおか歴史文化館
	オシラ様	南 英克 (元大間町役場職員)
	オシラ様	竹内滋仁 (大間町議会議員)
	材木稲荷神社	佐々木清喜 (元総代)

町史協力者名簿

章	依頼項目	氏名又は団体名
	材木稲荷神社、弁天堂、地藏堂	菊池輝義（元総代）
	材木稲荷神社、弁天堂、地藏堂	佐々木正清（前総代）
	材木稲荷神社、弁天堂、地藏堂	和田 透（総代）
	弁天堂	和田健一
	春日弁天神社	熊谷忠一（会計）
	阿弥陀寺	柴田とし子
	円融寺	松尾融一（住職）・松尾圭哉（住職）
	信願寺	田村志保子
	崇徳寺	佐々木信萌（住職）
	法性寺奥戸分院	石澤尚人（住職）
	子宝観音	正根康子
	春日優婆尊堂	高橋 勝
	鹿島明神社	傳法やえ子
第10章	稲荷丸山車運行音頭「どっどこ」	稲荷丸
	武内家所蔵資料	武内尚二
	武内家所蔵資料一原稿執筆	瀧本壽史（弘前大学キャリアセンター特任教授）
	焼畑（2）遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター
写真撮影	風景・施設	蛸子写真館
監 修		瀧本壽史（弘前大学キャリアセンター特任教授）

【写真等の資料提供】

- ・平田和彦（千葉県中央博物館）：第1章第3節—ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、ウトウ、ノジコ、ヤツガシラ、オオセグロカモメ、ウミネコ、コクガン
- ・PIXTA：第1章第3節—ホンドキツネ、アカネズミ、コエゾイタチ、ニホンノウサギ、クロソイ、アイナメ、スルメイカ、第4節—ブナ、ミズナラ、オサバグサ、オオサクラソウ、ユキワリソウ、ワカメ
- ・アフロ：第1章第4節—ヒメホテイラン
- ・青森海上保安部：第3章第2節—大間埼灯台
- ・（有）下北測量：第5章第1節—小赤川橋が土石流で崩落
- ・デーリー東北新新聞社
- ・東奥日報社



あとがき

前大間町教育委員会教育長 佐藤 桂一

令和4年、町制施行80周年を迎えるにあたり、大間町の美しい自然や風土の中で培われた歴史や文化（町の歩み）について、平成元年度からを振り返り、記録していくための町史づくりが話題となりました。

前回の町史編さんから、平成から令和と年号が変わり25年あまりが経ちました。この間、時代はデジタル化が進み、紙の文化からデータ化へと姿を変えようとしています。誰もがスマートフォンを片手に何でも調べることができるようになったのです。しかし、一冊の町史にまとめ、過去・現在のふるさと大間を知ること、未来へつなぐ資料の一助になることを願って今回の編さんとなりました。

編さんにあたっての基本方針として

- 1 より多くの町民に親しまれ、末永く活用される町史を刊行する。
- 2 町史編さん事業で収集した貴重な資料を自然、行財政、文化などに体系づけて編集する。
- 3 資料を収集するにあたっては、町民に丁寧な説明を行い協力をいただき、図表やドローンを使った上空からの写真などを活用し、見やすいものにする。
- 4 公正な史観に基づき、あくまでも大間町の歴史を中心にとらえ、広く一般町民の目に触れるものとし、中学生が普段の学習に活用できるように配慮する。

以上4点を重点として編集を進めてきました。

大間町の豊かな自然の美しい四季の変化やドローンによる空から撮影した写真は、見たことのない風景が広がり、ふるさとのよさを再発見できるものとなっています。また、資料収集のための聞き取り調査の際は、多くの方からこれまで引き継がれてきた伝統への熱い思いと今後の継承に対しての不安が語られ、改めて伝統を後世へつなげていくことの難しさと重要性を考えさせられました。

近年は、マグロといえば「大間のまぐろ」と全国の誰もが知るところとなりました。大間の豊かな自然を楽しみに多くの観光客も増えてきたところでしたが、この間、東日本大震災の発生、この数年は世界中に広がった新型コロナウイルス感染症など想定外のことが次々起こり、私たちの普通にあった日常が一変しました。

編さん作業では、新型コロナウイルス感染症拡大のため、行動制限が出され、様々な方との

交流や対面での協議が厳しい状況の中、オンライン会議を通して情報共有するなど難しい作業となりました。

その状況の中、大間町町内の各関係機関や協力者の皆様から貴重な資料を提供等協力をいただきました。また編集委員の皆様にも細部にわたりご検討いただき無事刊行できましたことにお礼を申し上げます。

さらに、株式会社「ぎょうせい」には本書の編集と執筆を、また、弘前大学特任教授の瀧本壽史氏には、全体の監修をしていただきましたことに衷心より敬意と感謝を申し上げます。

多くの方々のご理解ご協力のおかげをもちまして第2刊目の『大間町史～平成のおおま～』を発刊することができました。この町史が今に生きる私たちそして未来の大間町に関わる多くの方たちに愛され活用され大間町の発展のために何等かの糧となれば幸いです。

The History of Oma Town

大間町史

～ 平成のおおま ～

令和4年12月吉日 発行

編集 大間町史編さん委員会
(町制施行80周年記念事業)

発行 大間町教育委員会
〒039-4692
青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道20-4

印刷・編集協力 株式会社 きょうせい